

繁殖・肥育一貫農場で分娩介助方法の講習を行いました

南丹管内の繁殖・肥育一貫農場で、分娩介助方法の講習を行いました。この農場は和牛肥育を専門とする農場でしたが、京都生まれ京都育ちの和牛生産にこだわり、4年前から繁殖経営にも取り組んでおられます。

現在、繁殖牛は2頭で分娩に立ち会う経験が少ないことから、講習依頼があり、助産のタイミングや難産の対処方法、介助器具の使用方法について実演を交えながら講習を行いました。

畜主からは「次の12月予定の分娩に活かしたい」との心強い言葉もあり、有意義な講習となりました。

当センターでは引き続き、関係機関と協力し、飼養管理を中心とした農家支援を行っていくこととしています。



産科ベルトの使い方を講習



牽引滑車の使い方を講習